

第14回運営推進会議議事録

事業所名 キララリハビリティサービス

開催日時 令和5年1月11日（水）17時～17時30分

新型コロナウイルス感染症対策で集まらずに資料での報告で要望・助言を頂き事業所内で検討をしました。

資料提出先

地域包括支援センター宮前

住民代表（南太田自治会長、自治会役員）

有識者

利用者

利用者家族

要望・助言の回答者

地域包括支援センター宮前職員

住民代表

有識者

議題

①令和5年1月現在利用者

要支援111名、要支援122名、要介護117名、要介護211名、

要介護34名、要介護42名（男性12名、女性45名 計57名）

最高年齢94歳、最少年齢59歳

②人員体制

管理者1名（生活相談員、介護職員を兼務）、生活相談員3名（常勤2名 内1名管理者、介護職員を兼務、内1名介護職員を兼務、非常勤1名）

機能訓練指導員3名（常勤2名、非常勤1名）、介護職員4名（常勤2名 内1名管理者、生活相談員を兼務、内1名生活相談員を兼務、非常勤2名）

計8名

③日常のサービス提供状況

機能訓練指導員が主になり本人に何が一番気になっているか、何が出来る様になりたいかを聞き、個人個人に適した目標を設定したリハビリ計画を立て、それに従って利用者様に運

動をして頂いています。

④レクレーションの開催

春のお花見（歩行訓練） 新型コロナウイルスの影響で中止予定

⑤和歌山市一斉安全行動訓練への参加

11月2日（水）10時00分～

参加者 利用者9名、職員4名

⑥事故・ヒヤリハット報告

1月4日（水）

訓練用ベッド（高さ45cm）上に仰向けになり両下肢をバランスボール（バランスボール転落防止用の棒を設置）に乗せて運動をしていたが自発的に途中で中断し起き上がりようとして床へ転落する。

再発防止策・認知面の低下などでリスク管理の乏しさが有る利用者様には見守りをしっかりと

。

⑦苦情報告について

報告無し

外部評価

依然としてコロナ禍が続いている中での運営努力は大変なことなのに感染者を出さずにいることを評価します。

要望・助言

軽度認知障害では認知症に比べて生活習慣や人との関わりを再構築することで、認知症の発症を遅らすことができると言われています。身体機能が向上し生活の選択肢が増え自立に繋がるように引き続き支援をお願いします。

要望・助言等に対する対応

職員会議で話し合いを実施

- ・認知予防体操をこれからもしっかりと実施する。難しい所は適宜フォローする。
- ・認知症の評価用紙を活用する。（会話の流れの中でする）
- ・名前と住所を書けるように介入する。（自尊心などに配慮する、自宅が分からなくなったり時の為）
- ・今後より意識する事として、デイで過ごす中で種目の選択と記憶を自立できるように環境

を整える。

次回は令和5年7月12日（水）16時45分開催予定